

令和4年度事業報告書

（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）

1 浴場の概要

（浴場名、所在地）

市立浴場名	所在地
壬生浴場	京都市中京区西ノ京新建町12番地
久世浴場	京都市南区久世大築町66番地

（供用時間、供用しない日、営業日数）

市立浴場名	営業時間	定休日	営業日数
壬生浴場	16：30～22：00	日曜日	312日
久世浴場	16：30～22：30	日曜日	312日

（入浴料金）

区分	入浴料金	入浴料金（10／1～）
大人（12歳以上）	450円	490円
中人（6歳以上12歳未満）	150円	150円
小人（6歳未満）	60円	60円

※大人については、1冊につき10券片4、300円の割引回数券を発行
10月より4、700円の割引回数券を発行

2 事業の実施状況及び施設の利用状況

(1) 壬生浴場

収入増になった主な要因は、10月より大人料金が490円値上がりした事によるものです。入浴者数増加につきまして、SNS（TwitterやInstagram）を活発にする事により、小冊子「銭湯生活」に取り上げられる等、注目されるようになり、北は北海道、南は沖縄にお住いの方がご利用下さるようになりました。

また、街のお風呂屋さんと共同イベントをする事により、銭湯ファンも入浴されるようになり、どのような方々にでも入浴が出来ると理解して頂けたのが一番の要因です。

◎入浴者数

区分	令和4年度	前年度 （令和3年度）	前年度比較
大人（12歳以上）	11,371人	11,214人	157人
中人（6歳以上12歳未満）	860人	564人	296人
小人（6歳未満）	190人	166人	24人
合計	12,421人	11,944人	477人

◎入浴料収入（割引回数券含む）

令和4年度	前年度（令和3年度）	前年度比較
5,283,460円	5,021,490円	261,970円

◎割引回数券収入

令和4年度	前年度（令和3年度）	前年度比較
8,250枚／3,662,700円	8,610枚／3,702,300円	-360枚／-39,600円

(2) 久世浴場

10月の大人料金が値上がりをしたのが収入増加の要因です。

年度初めは、新型コロナウイルスの流行が原因で利用者の方が少なくなりました。

秋以降にサウナブームの追い風を受けて、サウナ利用客が増えはじめ、高評価の口コミが広がり増加傾向が続きました。また、貸しタオル無料やシャンプー、リンス、ボディーソープが常備しているから利用しやすいと喜んで頂き、現金から回数券への購入へと変わり常連客として増加しました。

◎入浴者数

区 分	令和4年度	前年度 （令和3年度）	前年度比較
大人（12歳以上）	15,104人	15,428人	-324人
中人（6歳以上12歳未満）	321人	570人	-249人
小人（6歳未満）	421人	310人	111人
合 計	15,846人	16308人	-462人

◎入浴料収入（割引回数券含む）

令和4年度	前年度（令和3年度）	前年度比較
6,975,840円	6,896,000円	79,840円

◎割引回数券収入

令和4年度	前年度（令和3年度）	前年度比較
10,660枚／4,766,600円	10,280枚／4,420,400円	380枚／346,200円

3 浴場の運営状況

(1) 施設運営の考え方

ア 管理運営方針及び理念

同和問題の解決と地区住民の公衆衛生及び生活環境の改善向上を図ることを目的に、地区住民並びに周辺住民及び地区内施設の利用者などへ口コミやチラシ、ホームページやSNSなどを活用して利用促進を図り、お客様同士のふれあいと憩いの交流拠点として、また健康と福祉の増進に寄与することにより同和問題をはじめ様々な人権問題の解決に資するために運営を進めてきました。

イ 浴場活性化及び利用者数向上の取組

安定した経営基盤の構築と地区住民の生活基盤の安定と雇用促進を図り、さらに障害者就労支援の観点から（福）京都聴覚言語障害者福祉協会に業務を一部提携することにより、ノーマライゼーションの理念のもと障がい者の社会参加と障がいのある人ない人も住みよい安心安全の地域づくりに貢献することを理念に管理運営を行ってきました。

また、平成 28 年度からは学区自治連が母体の NPO 法人あかしゃふれあいネットワークが取り組んでいる子ども食堂・こどもの居場所づくり事業に入浴支援を取り入れていただき、学生ボランティア、番台と連携して入浴マナーの向上、ひとり親家庭・貧困家庭等への負担軽減、入浴者の増加など相乗効果を高めてきました。

ウ 運営経費削減のための取組

毎月、光熱水費を点検して増量の月は、シャワーやカランの出しっぱなしがないかを確認したり、設備では不備がないかを確認したりしました。特に配管からの水漏れの確認を念入りにするなどをして、節水に努めてきました。さらに壬生浴場の脱衣場の蛍光灯を LED に切り替えて節電に努めてきました。

また、軽微な不具合は自社で修繕をする事により修繕費を抑えてきました。

(2) 施設の維持管理・運営体制

ア 建物・設備の維持管理方法

法定点検や定期点検は、法律や規則で定められた回数、点検方法などを共同企業体である（有）京都保全管理が担ってきました。また、トラブルになりやすいボイラーについては、専門業者からレクチャーを受け基礎的な対応ができるように技術向上に努め、軽微の修繕等については自社で行ってきました。

また、浴室、脱衣場、トイレ、玄関及び施設周辺などの清掃については、一部事業を委託している（福）京都聴覚言語障害者福祉協会や（福）向陵会から毎日 5～6 名の障がい者が清掃業務に当たり清掃感を高めてきました。

修繕についても、修繕リストを作成し、緊急度と予算又は住民要望の強い箇所を総合的に判断して修繕をおこなってきました。

イ 施設の修繕実績

【壬生浴場】

修繕箇所	修繕日	修繕内容
脱衣場	10 月	蛍光灯から LED に変更
機械室	10 月	ボイラー真空部品取替え工事
機械室	3 月	ろ過ポンプ逆止弁交換

【久世浴場】

修繕箇所	修繕日	修繕内容
サウナ室	8月	サウナ床の修繕
機械室	12月	三方弁取り換え工事
機械室	2月	ボイラ上フランジ水漏れ防止

ウ 職員の体制

【壬生浴場】

職種	勤務時間	人数	備考
火夫	8時間	2人	① 12時～3時, ②3時～11時勤務
番雑	7時間	2人	① 4時～8時, ②4時～11時勤務
事務	8時間	1人	9時～18時勤務

【久世浴場】

職種	勤務時間	人数	備考
火夫	8時間	2人	② 12時～3時, ②3時～11時勤務
番雑	7時間	2人	② 4時～8時, ②4時～11時勤務
事務	8時間	1人	9時～18時勤務

エ 環境面及び衛生面への配慮

環境面については、地球温暖化防止のためLED電球や省エネラベル商品の購入、節電や節水に心がけるなどを徹底し、環境負荷を少なくしCO2の削減に努めて、環境モデル都市・京都にふさわしい事業所を目指してきました。

また、衛生面については一部事業を委託している（福）京都聴覚言語障害福祉協会が清掃作業を担い、番台及び雑役は、営業時間内に浴室内の巡回点検を行いゴミなどの処理を行ってきました。また、月一回はロッカーに害虫駆除散布を行い衛生面の向上に努めてきました。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、脱衣場のイス・カゴ・ヘアドライヤー・マッサージ器などは、利用された後ただちに消毒などをおこなってきました。

(3) サービス向上の取組

ア 利用者アンケート等により把握した利用者の満足度やニーズの状況とサービスの改善への反映状況

利用者数の増加を図るために、地域体育館、いきいき市民活動センター、高等学校や民泊施設などにチラシを配布し、シャンプー、リンス、ボディソープ、タオルなどを無料提供するなどして入浴者の増加とサービスの向上を図ってきました。

また、回数券の購入者には粗品を贈呈するなどして、サービス感が実感できるように企業努力に努めてきました。

イ 苦情の受付及び対応の方法

各浴場内にお客様の意見や苦情などを聞く「意見箱」を設置し、常にお客様のニーズの把握に努め、場合によっては、質問者と直接面談して解決にむけて話し合いを重ね事業運営に反映させました。

また、直ちに実現可能な案件については管理運営に反映させ、中長期的な案件については、計画性をもって取り組んできました。

特に、緊急性を要する苦情などは、迅速に対応することが大切であるために、地元配置している浴場主任が対応にあたり、その処理方法については事前協議及び事後報告を遅滞なく行い（同時に、京都市にも事前・事後報告を行う）、記録して次期の運営会議に報告して情報と課題の共有化と教訓化としてきました。

ウ 研修、人材育成についての考え方

当社が運営している通所介護「明日香デイサービスセンター」の職員による高齢者介助の基礎的知識などについての講習の実現にむけて努力してきました。

エ 高齢者や障害のある方にとって利用しやすい浴場となるような取組

お客様の中で希望される独居高齢者には、連絡先などを登録していただき、3日以上、入浴に来られない場合、電話などで安否確認を行ってきました。

雨天など傘を必要とする日にも、手ぶらで入浴できるように、シャンプー、リンス、ボディーソープ、タオルなどを無料で常備してきました。

オ 接遇・対応に関するサービスの充実策

「いらっしゃいませ」「ありがとうございました」等の挨拶の徹底化と入浴方法の入浴マナーなどへの啓もうを行ってきました。

(4) その他

ア 事故防止、非常災害時への対応策

各浴場責任者（火夫・婦）には、万一に備えて防火管理者講習を受講した有資格者を配置しています。

また、毎年集中豪雨や台風等により久世地域は隣接する桂川も水位が異常に上昇し、区防災担当者等からも、避難準備などの連絡があります。また、冬季は日没が早く、足元が見にくい等との要望を受けて京都市や浴場主任などと協議をおこない営業時間を繰り上げて利用者の安全確保に努めてきました。

イ 個人情報保護・情報公開についての考え方

社員の履歴書をはじめお客様から得た個人情報については、本社事務室の施錠付ロッカーに保管するなどして厳重に管理しています。

さらに、個人情報の保護に関する法律、京都市情報公開条例、京都市個人情報保護条例などを事務所内に置き、常に閲覧できるようにするとともに、社員に対して

もその内容の理解を徹底しています。

具体的には、京都市立浴場の管理運営業務に関して知り得た秘密を漏らし、又は自己の利益のために利用しないこと、又その職務を退いた後においても同様であることを契約させる書面を交わしています。

ウ 自主事業の取組状況

高齢者及びお勤めされた方が入浴しやすいように、シャンプー、リンス、ボディークリーム、貸タオル、ヘアドライヤー等を無料提供し、手ぶらで行けるように取り組みました。また、利用者にサービス感とお得感が実感できるように、回数券を購入時には粗品を贈呈するなどをして、利用者増加に向けて取り組みました。

地元NPO法人や隣接のいきいき市民活動センターの子ども食堂と提携し、来館者及び参加者へ入浴利用の協力依頼を進め「浴育」の推進を行いました。

地元住民の利用だけではなく、近隣の高校・大学生に利用を促すと共に、京都市内及び他府県にお住まいの方に、気軽に利用して頂けるようにSNSでの発信を強化しました。

利用者の意見や感想を聞くために「つぶやきノート」を設置して、ニーズの把握をしてきました。

入浴剤を入れる事により、いつもと違う非日常を味わっていただき、再度利用される方が増えました。

SNSを通じてのイベントを実施して、どんな方でも利用ができるという認識が生まれ、銭湯ファンや日本各地からご利用くださるようになりました。

エ 休業の報告

なし

オ 市内中小企業への発注実績割合

100%

市内中小企業への発注件数：12件

第三者への発注総件数：0件

※ 共同事業体内での発注や特殊な技術等のためメーカー等の1社しか契約できない案件は除く。

4 施設の管理業務及び自主事業に係る収支決算

別紙のとおり

令和4年度京都市立浴場管理業務における収支報告書

Bグループ（壬生浴場，久世浴場）

<収入>

(単位：)

項 目	金 額	内 訳
入浴料収入	12,259,300	現金 3,830,000円 割引回数券 8,429,300円
委託費	60,300,000	指定管理料
合 計	72,559,300	

※適宜、費目を追加又は削除してください。

<支出>

(単位：円)

費 目	金 額	概 要
給料手当	27,108,688	本社浴場担当業務員、火夫、雑務
法定福利費	2,717,607	社会保険料、労働保険、雇用保険
福利厚生費	461,555	健康診断 など
消耗品費	631,056	清掃道具、アメニティ など
修繕費	4,191,888	壬生：外壁補修及び整地 久世：エアコン結露対策 など
光熱水費	24,556,214	水道代、電気代、ガス代
保険料	211,910	損害賠償責任保険料 車両保険 など
保守点検費	5,249,894	年次点検、ボイラー点検、施設保守点検など
衛生管理費	4,161,705	清掃費、ごみ処理代、レジオネラ菌検査 など
通信費	1,397,026	電話料金、印刷費、通信費 など
雑費	1,224,172	事務所経費 銀行手数料 税理士報酬 など
合 計	71,911,715	

※適宜、費目を追加又は削除してください。

令和4年度京都市立浴場管理業務における収支報告書

壬生浴場

<収入>

(単位：円)

項 目	金 額	内 訳
入浴料収入	5,283,460	現金 1,620,760円 割引回数券 3,662,700円
委託費	27,225,000	指定管理料
合 計	32,508,460	

※適宜、費目を追加又は削除してください。

<支出>

(単位：円)

費 目	金 額	概 要
給料手当	12,832,470	本社浴場担当業務員、火夫、雑務
法定福利費	1,359,822	社会保険料、労働保険、雇用保険
福利厚生費	227,203	健康診断 など
消耗品費	315,528	清掃道具、アメニティ など
修繕費	2,490,080	高齢者、・障がい者用手摺設置 外壁補修及び整地 など
光熱水費	9,488,353	水道代、電気代、ガス代
保険料	105,955	損害賠償責任保険料 車両保険 など
保守点検費	2,522,185	年次点検、ボイラー点検、施設保守点検など
衛生管理費	1,911,105	清掃費、ごみ処理代、レジオネラ菌検査 など
通信費	698,513	電話料金、印刷費、通信費 など
雑費	612,086	事務所経費 銀行手数料 税理士報酬 など
合 計	32,563,300	

※適宜、費目を追加又は削除してください。

令和4年度京都市立浴場管理業務における収支報告書

久世浴場

<収入>

(単位：円)

項 目	金 額	内 訳
入浴料収入	6,975,840	現金 2,209,240円 割引回数券 4,766,600円
委託費	33,075,000	指定管理料
合 計	40,050,840	

※適宜、費目を追加又は削除してください。

<支出>

(単位：円)

費 目	金 額	概 要
給料手当	14,276,218	本社浴場担当業務員、火夫、雑務
法定福利費	1,357,785	社会保険料、労働保険、雇用保険
福利厚生費	234,352	健康診断 など
消耗品費	315,528	清掃道具、アメニティ など
修繕費	1,701,808	換気扇交換 エアコン結露対策 ガス冷媒エアコン点検 など
光熱水費	15,067,861	水道代、電気代、ガス代
保険料	105,955	損害賠償責任保険料 車両保険 など
保守点検費	2,727,709	年次点検、ボイラー点検、施設保守点検など
衛生管理費	2,250,600	清掃費、ごみ処理代、レジオネラ菌検査 など
通信費	698,513	電話料金、印刷費、通信費 など
雑費	612,086	事務所経費 銀行手数料 税理士報酬 など
合 計	39,348,415	

※適宜、費目を追加又は削除してください。